

地質ニュース

昭和49年2月

第234号

1974

解説	道南小谷石の豪雨災害……………	秦坂 光男 本 亨	1
トピックス	坑井地質に見る関東平野の基盤……………	福田 理博 高橋 大規 大八 宏 鈴木 芳	8
	中央日本の大震の野外地質的考察……………	別所 文吉	18
国際会議	第7回国連アジア極東地域地図会議……………	松野 久也	34
海外事情	中国の寧郷式鉄鉱床とその鉱床生成区……………	岸本文男	39
	中央アフリカ共和国の旅③～密林のキャンプ～……………	小村 幸二郎	48
	地学と切手……………	P. Q.	63

編集 地質調査所

表紙の写真

チタン酸バリウム

チタン酸バリウム ($BaTiO_3$) は 強誘電体として知られる人工鉱物である。大型単結晶を得るために 種々の合成法が試みられているが KCl を融剤としたフラックス法から生成する結晶は 成長速度が大きく バタフライ双晶 (2つの直角二等辺三角形が 60° の開きで底辺を共有した形) と呼ばれる特異な形態を示すことで有名である。写真は 蝶の羽根にあたる面を複光干渉法によって撮影したものである。写真上端が羽根の尾端にあたり お椀を伏せたような構造は 成長終了後に付着した融剤によるものと考えている。中央部を横切る階段は成長層の末端部で 下方の平坦な部分には 薄い成長層が広がっている。羽根の面全体の7割以上が このような平坦面で構成され その上には種々の成長模様が見いだされている。約300倍

(遠藤祐二)

発行 株式会社 実業公報社